

## 「太宰府博覧会と鎮西博物館 ―明治時代の博物館構想―」

太宰府における博物館設立の先駆となったのは、明治6年（1873）に開催された太宰府博覧会です。太宰府博覧会は、明治4年（1871）に大学南校物産局博覧会が催されて以降、地方に広まったいわゆる地方博覧会の一つで、文化財保護や勸業、地方振興をその目的としていました。

ここ太宰府でも東京での開催からわずか2年後、明治6年（1873）に、太宰府神社（現 太宰府天満宮）境内において第1回太宰府博覧会が開催されました。太宰府神社の他、社寺や個人が所蔵する古器旧物から600点余が出品された博覧会は多くの来場者を集めました。

太宰府博覧会開催から約20年後、太宰府の地に常設の展示施設「鎮西博物館」建設が提唱されます。この計画の中心人物が、西高辻信巖（1846～1899）、江藤正澄（1836～1911）、吉嗣拝山（1846～1922）です。鎮西博物館は古器旧物と九州の物産、すなわち「新古ノ物」をともに収集展示することを目指し、いったんは政府より設置の許可が下りるものの、結局、実現には至らずまぼろしに終わりました。

本展は、九州国立博物館開館二十周年を記念し、創立前史の中でもとりわけ重要な太宰府博覧会の開催と鎮西博物館構想に光を当てるものです。前半では太宰府博覧会に出品された品々を展示し、博覧会の模様をご紹介します。また後半では博覧会開催に端を発した博物館建設計画について、その推移を示す文書類や収集展示のために集められた品々を通じて振り返ります。

明治時代、太宰府の地で人々が体験した博覧会はどのようなものであったか、そして人々が思い描いた博物館はどのようなものであったか、本展を通じて思いを馳せていただければ幸いです。

### ■会期・会場等

会 期 令和7年（2025）10月21日（火）～11月30日（日）〔6週間〕  
会 場 九州国立博物館 4階 文化交流展示室 第11室

### ■担当

九州国立博物館：電話 092-918-2824 ファックス 092-918-2826  
学芸部企画課特別展室長 川畑憲子 kawabata@kyuhaku.jp

### ◆章構成

#### 第1章 太宰府博覧会の開催

日本で最初の博覧会である大学南校物産局博覧会（明治4年〈1871〉）に続き、地方でも様々な博覧会が開催されました。太宰府でも太宰府神社の神官らを中心に「太宰府博覧会社」が結成され、明治6年（1873）、九州初の博覧会となる太宰府博覧会が開催されます。太宰府博覧会は、先行する京都博覧会をモデルに文化財保護や勸業、地域振興をその開催目的としていましたが、博覧会を訪れた多くの人々にとっても社寺や古器旧物に満ちた太宰府の歴史をあらためて認識する機会となりました。

本章では、明治6年から3回にわたって開催された太宰府博覧会について、関連資料や出品された品々を通じて博覧会の模様をご紹介します。

〈おもな出品希望作品〉

「太宰府博覧会票告」(明治六年二月) 福岡市総合図書館(三宅長春軒文庫)

太宰府博覧会開催にあたり、開催者が博覧会の目的を記したもの。県下に所在する社寺宝物を展示することで、東京や京都に負けることなく人々の知識増進を図り、文明の開化に役立てたいと述べる。

「太宰府博覧会出品目録」(明治六年四月) 太宰府天満宮

第1回太宰府博覧会の展示目録。明治6年(1873)4月発行。太宰府所在の宝物とともに器械や舶来の品々も出品されていることがわかる。



## 第2章 「鎮西博物館」構想

太宰府博覧会の開催に続いて、明治26年(1893)には、西高辻信庵、江藤正澄、吉嗣拜山らにより常設の博物館「鎮西博物館」建設が計画され博物館建設費や展示品収集のための資金を集める活動が進められます。鎮西博物館の建設は、結局、実現に至りませんでした。明治32年(1899)に九州を訪れた岡倉天心が九州博物館建設の必要性を提唱し、博物館設立の機運が再び高まることになりました。

本章では、鎮西博物館設立に向けて尽力した人々の活動や収集・展示されたであろう品々から、当時の人々が思い描いた博物館の姿を具体的にご紹介いたします。

〈おもな出品希望作品〉

子持高坏

古墳時代・6世紀 神宮徴古館

器台の上に7個の坏を載せた子持高坏(現 糸島市加布里出土)。古墳の葬送儀礼用に多用された器種で、「鎮西博物館歴史参考之備品」にも記載される。江藤正澄旧蔵。



「鎮西博物館歴史参考之備品」

江藤正澄編 明治29年(1896)2月11日付 福岡市博物館

「鎮西博物館」は太宰府に建設が計画された博物館。鎮西博物館は江藤正澄が収集した品々を基礎として建設が計画された。本品には石棒や石包丁、須恵器等の考古資料や仏像や伎楽面などが載り、幅広い収集の傾向がうかがえる。

